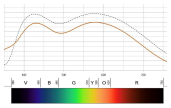
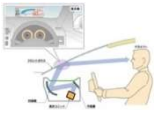
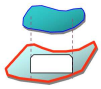
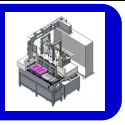
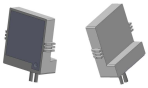
区分	□樹脂成形　□電子部品　□鍛造・鋳造　□プレス加工　□表面処理 □機械加工　□金型・治工具　□自動機・装置　□システム・ソフトウェア □素材　■その他（ ガラス成膜加工 ・その他 ）

展示No.	提案名	工法	新規性
19	どんなガラスでも曲げて成膜します	成膜技術	－

セールスポイント

☞日本レベルの管理技術による、中国生産の超廉価なガラス成膜品をご紹介いたします
☞４輪用・2輪用のミラー異形製品、ミラー関連製品をご紹介いたします

提案技術・提案工法

	製品名	イメージ	提案技術・工法・期待できる効果
1	ハーフミラー		 ・従来の製法：汎用ハーフミラー板を加工 ☞提案技術：客先ニーズに合わせた膜層設計により ①画像品質改善　②製品適用範囲拡大
2	カバーガラス		・従来の製法：メッキによる枠ミラー加工 ☞提案技術：メッキを印刷に変更することにより ①生産性UP　②コスト削減　③不良率削減
3	深曲げミラー （小径ミラー）		・従来の製法：曲げガラスを玉擦り機で加工 ☞提案技術：形状粗加工後、NCマシンにて生産することにより ①生産性UP　②コスト削減
4	HUDガラス		 ・従来の製法：伝統的な曲げガラスのカット ☞提案技術：真空プレス加工による加工精度UP ※PV値改善による画像鮮明度UP 
5	エンコーダー用 スリット板 （ガラス&金属）		・従来の製法：ガラス成膜品をレーザー加工 ☞提案技術：SUSまたはアルミ素材に変更することにより ①製品の安定性改善　②生産性UP　③コスト削減
6	インジケーター （BSD Assy）		・従来の主力製品：コスト高 ☞提案技術：面発光に変更することにより、治具なし組付け可 ①製品適用性拡大　②コスト削減　③生産性UP

適用可能な製品／分野	製造可能な精度／材質等
・ガラスの特殊成膜製品 ・車載用ミラー、ミラー関連製品 ・その他、ガラス加工品	・お客様のご要求に、お応えいたします
問題点（課題）と対応方法	**開発進度**　（2023年10月現在）
製造拠点が中国であり、輸送費は国内製造に対し割高になりますが、製造コストでカバーして参ります	□ アイデア段階　■ 試作／実験段階 ■ 開発完了段階　■ 製品化完了段階
	パテントの有無 □ 有（　　）　■ 無

提案の狙い／従来との比較（数値割合）

■ 原価低減	（ 70% ）	■ 品質／性能向上	（ 15% ）
□ 質量低減	（　）	□ 安全／環境対策	（　）
■ 生産（作業）性向上	（ 15% ）	□ その他（　）	（　）

会社名	所在地
株式会社 日本巨碟	宮崎県宮崎市中村西1-6-26 TOKOハイツ210号
連絡先	URL ： ー
部署名 ： ー	Tel No. ： 090-9726-3062
担当名 ： 柳田和徳	E-mail ： yanagita@jdc-j.com
主要取引先	**海外対応**
・美里工業株式会社（中国親会社との取引） ・ネクスビジョン株式会社（中国親会社との取引） ・株式会社G-Proテック（中国親会社との取引）	■可（生産拠点国を記入）中国　□ 否